



5歳児健診フォローアップ体制について



日本小児科学会でも取り上げられていました。福岡県ではまだ実施はされていません。受け入れる体制がまだ不十分だと思われます。

しかし、将来的には受け入れられ、求められているニーズは高いと考えられます。

5歳児健診では健診自体に加えて、事後に実施される専門相談やフォローアップ体制を整えることが重要です。



専門相談として

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 子育て相談 | 4. 心理発達相談 |
| 2. 栄養相談 | 5. 教育相談 |
| 3. 養育相談 | |



5歳児健診の経過は、下記の3つのグループに分けられると想定されます。

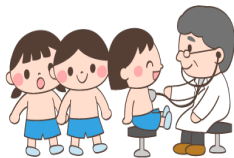
その1 専門相談にて以後は保護者・保健師・保育士もしくは幼稚園教員に見守りで就学を迎えるグループ



その3 専門相談や福祉サービスだけでは課題の解決が難しく、脳神経等の病気の識別や投薬のために専門医療機関を受診して就業を迎えるグループ



その2 何度か専門相談を繰り返すとともに、児童発達支援センターなどの福祉サービスを活用して就学を迎えるグループ



子どもがどのグループに該当するかは5歳児健診当日に判断することは難しいため、終了後の多職種カンファレンスで話し合うことが必須です。

5歳児はすでに**社会的な存在**となっていますから集団における立ち振る舞いの中から、社会的な発達の状況を把握し発達障害のスクリーニングにつながります。

保護者の方は、必要以上に恐れることなく、1人で抱え込むことなく、みんなで子育ての見える未来が少しでも明るいものにしていけたらと思います。

協力



2024年 日本小児科学会

食物アレルギーの食材の変化

- | | |
|------|-------|
| 1 卵 | 2 ナッツ |
| 2 牛乳 | 3 牛乳 |
| 3 小麦 | |



最近はナッツが牛乳をぬいて2位に上昇してきています。



鼻アレルギーの最近のホットな情報

- ・小児では1歳前後で集団に接点がある環境（保育園など）では鼻アレルギーになりにくい。
- ・農業をしているお家に暮らしている子供は鼻アレルギーになりにくい。
- ・5歳～9歳の児に鼻アレルギーが増加傾向にある
- ・1日中鼻が完全につまんでいて、21回以上くしゃみがあり、生活に支障がある症例は全体の2割に及ぶ。



食物負荷試験

食物負荷試験で小麦と卵を行ったとき、どうなるの？



小麦を試すと食餌性抗原によって誘発されやすい症状は主に呼吸器症状がやすいです。また、卵は消火器症状はでやすくなります。



ADHD (注意欠如多初性障害)

1. 不注意優勢型
2. 多動・衝動優勢型
3. 混合型



忘れ物・ミスが多い
じっとしてられない
①②の両方

ASD (自閉症 スペクトラム症)

1. 知的障害を伴わない自閉症
2. アスペルガー症候群
3. 知的障害を伴う自閉症

人の気持ちを考えるのが苦手
こだわりが強い
① 特性+IQ 70以下

LD (学習障害)

1. 読字障害 (ディクレクシア)
2. 書字障害 (ディスグラフィア)
3. 算数障害 (ディスカリキュリア)

読むのが遅い
理解するのに時間がかかる
書き間違いが多い
字を書くのに時間がかかる
文を読んで立式ができない
簡単な計算に時間がかかる



「5月の代診のお知らせ」

1日15日29日の水曜日、21日火曜日の 午後は畠添先生の診察になります。診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。

「診療時間」月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了） 予防接種専門外来：14時～15時
水曜：9時～12時、土曜：9時～13時
健康診断（4か月・10か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）